

学術団体名：日本地球化学会
学術刊行物の名称：Geochemical Journal
事業期間：平成25年度～平成29年度

1 取組の概要

・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

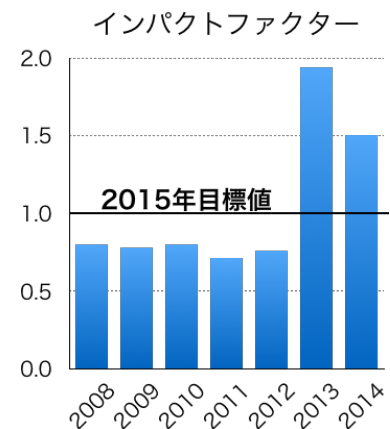
本申請は、Geochemical Journalをオープンアクセス化に向かわせ、地球化学分野の世界の最先端研究を日本から世界に向けて発信する雑誌に成長させることを目的とする。Geochemical Journalは、現在、学会が発行する地球化学全分野を網羅する世界唯一の国際誌でその存在価値はきわめて高く、国内はもとより国際的な研究者からの期待も大きい。したがって、商業主義に迎合することなく地球化学の国際的レベルの基礎科学の研究成果を発表する場を提供することがGeochemical Journalの主目的となる。この意味で、本申請の目的の意義は大きい。

Geochemical Journalには多くの海外の研究者からの投稿があり、全世界からの最先端の研究成果が日本を経由して発信されている。この流れをさらに加速させるために、本誌のオープンアクセス化を推進することが最も重要な課題であると我々は認識している。本申請では、オープンアクセス費用の半額を本補助金により補助し、著者のオープンアクセス化指向を少しずつ増加させていくことにより、オープンアクセスジャーナルにソフトランディングさせる取り組みが最も新しい点である。本取り組みを実施するために、Express Letter論文、Editor's Choice論文、一部特集号論文等においてオープンアクセスを既に実施し、オープンアクセス化への移行を準備してきた。また、この取り組みを定着化させるために、本分野最大の国際会議である

Goldschmidt Conferenceにおいて、定期的な広報活動と編集委員会を開催し、世界の地球化学者にGeochemical Journalの周知を図る。これらの取り組みにより掲載論文の質とサーキュレーションをさらに高め、事業完了後には、読者負担によるオープンアクセス国際誌としての刊行を目指したい。

・応募時に設定した取組の目標・評価指標

オープンアクセスのために必要な費用の一部に対して補助を行い、論文投稿数を増やすと同時にオープンアクセス論文数の増加を目指す。編集体制の国際化と定期的な国際編集会議を行うことで査読体制と国際情報発信を強化し、国際誌としての質の向上を図る。Goldschmidt Conferenceで広報を行うとともに、注目セッションを本紙特集号のオープンアクセス論文号として刊行する。



2 目標の達成状況

・現在までの目標の達成状況

論文投稿数は2014年において年間157件に達しており3年目の数値目標150件を達成している。目標に掲げた国際会議Goldschmidt Conferenceの機会を利用した国際編集会議は2014年以降定期開催しており目標達成している。オープンアクセス論文数は、2014年において年間20編に達しており3年目の数値目標14編を達成している。この結果、ホームページからの論文PDF年間ダウンロード数は、実施前の74万件から126万件に急激に増加している。インパクトファクターは2013年1.942、2014年1.505となっている。これは3年目の数値目標1を超え、最終目標の2に近づいている。

・今後の計画

今後は、特集号を充実させることにより、当初設定した目標の達成を目指している

